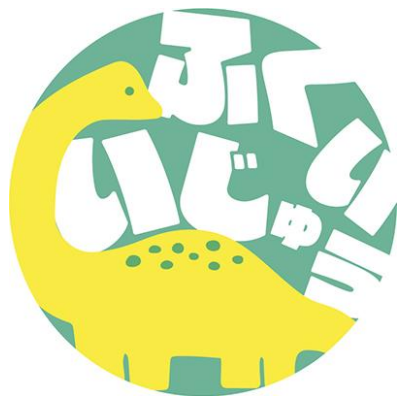


福井県地域おこし協力隊事例集



令和8年3月
福井県未来創造部定住促進課

自治体	活動内容 キャッチコピー	氏名	頁
福井市	森を次の担い手へつなぐ	林 宗和	1
	インバウンド促進×空き家活用	簡 翊真 (ジエン イージエン)	2
小浜市	牡蠣で小浜を盛り上げる	坂田 凱斗	3
大野市	関係人口創出 学生が地域に関わり続ける環境をデザインする	川口 赴司	4
	こども・若者支援 「みんなで育てる」共助の精神が基盤にある環境づくり	村上 綾	5
勝山市	孤独・孤立を減らす	西谷 咲希	6
越前市	越前市の伝統工芸産地の活性化と訪問者との橋渡し役を目指して	橋口 美和	7
永平寺町	永平寺町の農業に新しい可能性を。	中野 沙織	8
高浜町	まちづくりコーディネーター	森本 元樹	9
	まちづくりフォトライター	フロリアン・コシエラ	10
若狭町	米農家と都会をつなぐ 若狭町流の交流モデル	寺西 佑介	11
	三方五湖を活用したエコツーリズムの推進	渡邊 岳	12
福井県	SDGs推進で持続可能な地域づくり SDGsコーディネーター	白石 英樹	13
	SDGs推進で持続可能な地域づくり SDGsコーディネーター	徳川 貴文	14
	SDGs推進で持続可能な地域づくり SDGsコーディネーター	阿部 佐保子	15
	ウェルビーイングコーディネーター	小針 翼	16
	演劇とワークショップの専門知識を生かした「場づくり」のプロ		
	ウェルビーイングコーディネーター	大武 陽一	17
	全国唯一・史上初の医師×公認心理師の地域おこし協力隊員		
	隊員と地域、自治体を繋ぎ「三方よし」を応援 地域おこしマネージャー	池田 あゆ美	18
活動を支援し地域貢献 地域おこしマネージャー	金澤 和也	19	

自治体	活動内容 キャッチコピー	氏名	頁
福井県	企業版ふるさと納税コーディネーター 企業版ふるさと納税寄付の獲得（県外企業の新規開拓・営業）	山崎 昭彦	20
	ショッピングモールでの若者の居場所づくり	塚原 康平	21
	モノづくりを通じた若者チャレンジ応援	松田 剛	22
	福井の若者にエンタメ文化を伝えたい	多田 京加	23
	若者の自然な出会いをつくる！ はび縁コネクター	藤原 大地	24
	まちなか水辺のコーディネーター	山西 伴幸	25
	地域の賑わい創出に向けて、稼ぐローカルの仕組みを構築し、エリアの価値を高める	西垣 翔太	26
	敦賀・若狭エリアの魅力を第一線で発信！	山田 慎一	27
	敦賀・若狭エリアのアクティビティの魅力を世界へ発信	ブライアン・キース・イーストレイク	28
	福井で歴史観光のムーブメントを創る！ 歴史観光推進マネージャー	加治 まや	29
	エンタメをきっかけに”福井に行きたい！”をつくる 『ロケーションコーディネーター』	大谷 桃子	30
	映像文化を活かした地域発信の協力隊としての取り組み	手島 格	31
	三大都市圏等への営業による団体旅行誘致強化	村木 茂	32
	日本人県民と外国人県民をつなぎ、異文化理解を深める、 多文化共生プロモーター！	キャサリン コーネリアス	33
	『スポーツで人を動かし地域活性化への仕組みづくり』 スポーツコミッションコーディネーター	細野 健一郎	34
	里山文化創造コミュニティ「どんぐり舎」の実践	久々津 智哉	35
	自伐型林業による山村地域の活性化を目指して	松裏 美江	36
	県立高校の探究的な学びの支援 ほか	永野 龍典	37
福井の旬な文化財の情報を発信！	山本 恵	38	

～ 森を次の担い手へつなぐ ～

基本情報



【年齢】
39歳
【出身地】
福井県福井市
【転出元】
石川県金沢市
【前職】
電子機器の企画・設計
【活動時期】
R6.6～

協力隊に応募したきっかけ

生まれ育った地域は、年に複数箇所ですぐ山が崩れ、その度に買い物や仕事へ行けなくなるようなところでした。実家へ帰る度にコンクリートの面積が増えていくことに虚しさを感じていました。また、国内を旅行する中で同じような光景をたくさん見えてきました。崩れてからコンクリートで固めるのではなく、山の力を少しでも高めるような仕事がないかと調べている時に、市と受入先企業「(一社)やましごと工房ふくい」の紹介記事を見つけました。

今後の抱負・任期後の目標

森林・林業についても、地域活動についても始めたばかりですので、視野を広く持って学んでいきます。

任期後は仕事の範囲を県全体へ広げていき、どれだけ先の事になるかわかりませんが、「福井県の森林のことは林(私)に聞け」と言ってもらえるようになりたいです。

活動内容

●森林経営管理制度の推進

森林所有者には、森林を適切に管理する義務がありますが、例えば相続で受け継いで現地へ行った事もない人が、自ら管理するのは難しいと思います。そういった場合に、市町村が仲介役となり林業事業者へつなぐ「森林経営管理制度」があります。私はこの運用をする福井市の事務のお手伝いをしています。



●地域活動団体への参画

福井市美山地区を盛り上げる活動をしている団体「美山中」に参画させてもらっています。イベント開催やにんにく栽培などを行っている団体で、親子三代で楽しめる場を地域に作り出しています。私は水鉄砲作り教室の改良や、通販サイトの作成など、経験が多少なり活きるどころから活動しています。



●県内地域おこし協力隊員との連携活動

県内で活動する隊員からお誘いをいただき、竹炭づくりワークショップや酒粕料理教室などを一緒に企画してきました。それらを単発で終わらせず、森林や地域資源の活用が広まるように今後も連携していきたいと思っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(職場)) hayashi.yamashigoto@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) https://www.instagram.com/miyama_shachu/

～ インバウンド促進×空き家活用 ～

基本情報



【年齢】
31歳
【出身地】
台湾台北市
【転出元】
台湾新北市
【前職】
コンサルティング会社
プロジェクトマネージャー
【活動時期】
R7.7～R10.7

協力隊に応募したきっかけ

日本の文化や地域の魅力に関心があり、2024年にワーキングホリデーで日本各地の特色を体験しました。そのご縁で、台湾と交流の多い福井市東郷地区を知り、実際に滞在中で地域の人々の温かさや強い結びつきを感じました。また、地域からお声がけをいただいたこともあり、自分自身への挑戦として、福井に移住し、地域おこし協力隊としての活動を始めました。

今後の抱負・任期後の目標

東郷の魅力を国内外に発信するとともに、新たな交流の場や仕組みづくりを通して地域の活性化に貢献したいと考えています。
また、福井と台湾の友好関係をさらに深め、両地域の交流をつなぐ架け橋となることを目指しています。

活動内容

● 地域交流体験「東郷微住里山学旅」

台湾から日本を訪れた親子を受け入れ、地域の方々とともに農家体験や登山、バーベキューなど、東郷の自然や文化、暮らしを体験する交流プログラムのサポートを行いました。



● 協力隊毎月茶会

台湾茶やお菓子を楽しみながら、地域の方々と交流する茶会を開催。協力隊の活動紹介に加え、東郷でのイベントのアイデアや地域の近況などについて気軽に意見交換を行いました。



● 福井県台湾商談會

福井市の一員として参加。福井側から宿泊業・観光協会・行政など17団体、台湾側から52社の旅行会社が参加し、1対1の商談を通じて福井の自然・文化・地域ならではの体験の魅力を紹介しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) yichenchienwork@gmail.com
(電話番号(個人)) 070-6524-0292

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/fukuitogo_jian/



福井県小浜市 坂田 凱斗 ～牡蠣で小浜を盛り上げる～

漁業

基本情報



【年齢】
21歳
【出身地・転出元】
大阪府大阪市
【前職】
なし（高校卒）
【活動時期】
R5.5～R8.4

協力隊に応募したきっかけ

私は幼いときから漁師になることが夢でした。そのことから、大阪で行われた漁師就業フェアに参加した際、小浜市の漁業についてのお話をお聞きしました。その後、小浜市での現地研修や4日間のインターシップを通し、私の好きな海や自然に溢れた小浜市に大変魅力を感じ、この小浜市で漁業を学びたいと強く思い、志望しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は引き続き小浜市でカキの養殖を行い、従来の「若狭かき」を中心に、令和7年にブランド化した「若狭うららかき」、「若狭こはるかき」の養殖を拡大していきたいと考えています。より多くの方に小浜のカキを味わっていただき、小浜の魅力を知っていただけたら嬉しいです。また、カキ生産組合や会社などをつくり作業効率を上げるため機械等の導入なども行っていきたいと考えています。

活動内容

●産学官連携養殖研究作業 へいし

夏場の高海水温によるカキの斃死対策として、令和5年度から養殖を開始したカキを、令和7年5月に福井県立大学や小浜市漁業協同組合・市と連携し「若狭うららかき」としてブランド化し、小浜市長へお披露目と報告を行った。



●カキ養殖作業

季節ごとに4種類のカキの出荷を行っている。

春：若狭こはるかき
夏：ふくい岩がき
秋：若狭うららかき
冬：若狭かき

上記のかきの出荷へ向けて小浜湾の筏を中心に日々作業を行っている。



●水産物販促・PR活動

シーフードショーやイベントに参加し、水産物の流通販売およびPR活動に参加。イベントで販売したカキは長蛇の列ができるほど大人気で、市内外の来場者に対しその魅力を発信し、認知向上に努めた。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) kaidoubantian@gmail.com
(電話番号(個人)) 090-6551-9012

福井県大野市 川口 越司 (かわぐち たけし)

関係人口創出 「学生が地域に関わり続ける環境をデザインする」

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
東京都品川区
【転出元】
大阪府大阪市
【前 職】
関西大学 学生
【活動時期】
R5.11～R8.11

協力隊に応募したきっかけ

大学で、地域コミュニティの場である銭湯の持続可能性に関する活動をしていて、大野市の亀山湯で、まき割りや湯たきなど「弟子入り」と呼んでいる就業体験を行い、番頭のおんちゃんと一緒に汗を流した経験がありました。大学卒業後は、都心の大学院への進学や設計事務所への就職を考えていましたが、大野市に関わり続けたいとも思っていました。そんな時に、大野市が地域おこし協力隊を募集していることを知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、夏・冬の定期開催に加え、地域の暮らしや課題に学生が主体的に関わる学びの場として、プログラムの質をさらに高めていきます。受入事業者の拡充や大学等との連携強化を進め、学生が地域に関わり続ける環境をデザインするとともに、自走可能な運営体制の構築を目指します。都市部の学生が一つの地域に関わりつづけるという、地方と都市をつなぐ実践的なモデルとして成長させていきたいです。

活動内容

●都市部の大学生を対象にしたインターン企画の実施

大野市には、雪かきなど、豪雪地帯ならではの生活習慣があります。地域で働きながら、まちづくりの現場や雪国の暮らしを体験してもらうインターン企画を実施しています。過去3回の実施で関東・関西から累計25名の大学生を受け入れました。一部の学生は、インターン後も大野市を訪問してくれています。



●特技を生かして地域サークルを立ち上げ

大学時代のアルバイトでスパイスカレーの魅力にはまり、オリジナルカレーが作れるようになりました。スパイス好きな住民の方々と共に「奥越スパイス研究会」を立ち上げ、地域のイベントなどでスパイスカレーを提供しています。今後も、地域を盛り上げるため、少しずつ出店する機会を増やしていきたいです。



●地域サークルの活動拠点としての空き家改修

空き家を改修し、地域サークルの活動拠点として活用するプロジェクトを進めています。拠点には、サークル活動だけでなく地域住民も利用できるシェアキッチンを設置し、料理教室や交流イベントなどを通じて人が集まる拠点づくりを目指しています。改修の過程そのものを地域に開きながら、地域に愛着を持てる拠点づくりを進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) takeshi3kawa01@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram: <https://www.instagram.com/okuetsuspice/>
(所属する団体「奥越スパイス研究会」で活動情報を発信しています)

福井県大野市 村上 綾 (むらかみ あや)

こども・若者支援

「みんなで育てる」共助の精神が基盤にある環境づくり

基本情報



【年齢】
25歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前職】
理学療法士(小児専門)
【活動時期】
R6.5~R9.5

協力隊に応募したきっかけ

たまたま遊びに来た大野市に一目ぼれをし、「大野に住みたい!」と思ったことがきっかけです。「住む」ということは、生活できるようなお金を稼ぐ必要があります。私は、国家資格免許を持っており、その資格を活かして就職することは容易でした。しかし、せっかくならば、移住する前からお世話になっている地域の方々や、地域自体に恩返しをしたいという想いがありました。そんな中で「地域おこし協力隊」という制度を知り、フリーミッション型で応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後も大野市に住み「大野で子育てをする」ことが一番の目標です。さらには、任期中の2拠点生活も正式認容して頂いているので、「好きな土地で生きる」ことを自ら体現し続け、普段関わっている子どもたちにも広い視野で、様々な選択肢を提示していきます。

現在地域おこし協力隊として行っている、子ども関連事業と地域創生事業は任期後も続けていく予定です。

引き続き、大好きな大野で過ごしていきます。

活動内容

●子ども向けのイベント企画・運営・実施

幼児から小学生を対象として、月1回以上子ども向けのイベントを実施しています。主催イベントは、大野の良さを最大限に活用し、「家でも学校でもできない、新たな発見・体験をしにいこう!」をコンセプトに探求学習要素を絡めながら実施しています。



●市内の教育・保育現場視察とヒアリング

大野市内にある、こども園~高校までの保育・教育機関や学童、民間施設など「子ども」の文脈がつく場所に足を運び、現場視察と子どもを取り巻く環境にいる大人たちへのヒアリングを実施しています。「大野だからこそ」の良さや課題を収集し、自治体に伝えたり、協力隊の活動に反映したりしています。



●若者の居場所づくり

福井県内各地に展開している、若者の居場所の運営メンバーに参画しています。大野支部の運営を中心に実施しています。



●SNSを活用した魅力発信

移住してきてからのリアルな生活や、大野の魅力をSNSを活用しながら発信しています。まずは「知ってもらう」ために大野市とのタッチポイントをSNS上で創出しています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) koconowa.official@gmail.com(個人)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram: https://www.instagram.com/iju_musume.ono/

HP: <https://koconowa.me/>

基本情報



【年齢】
26歳
【出身地】
滋賀県草津市
【転出元】
東京都中央区
【前職】
看護師
【活動時期】
R6.12～R9.12

協力隊に応募したきっかけ

2024年元旦に起きた能登半島地震で現地に入り、災害ボランティアとして活動していた際に、2次避難として勝山市へ被災者と一緒に来たことがきっかけでした。1年近く勝山市で災害支援をしている際に、毎日、勝山の皆様に支えられ、人の温かさに感動し、災害支援が終わっても勝山の皆様に恩返しをしたいと思いました。また綺麗な景色や美味しい食べ物にも魅了され、このまま勝山市に住み続けたいと思い、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在の活動を継続しながら、「居場所づくり」に引き続き力を入れていきたいと思っています。今後は看護師という資格を活かし、高齢者版のシェアハウスとして、空き家を活用していきたいと考えています。同時に、多機能型シェアハウスとして、市民の憩いの場を作りたいと考えています。誰もが感じる「孤独感・孤立感」を減らし、最期まで自分らしく生きることのできるまちを作りたいと考えています。応援よろしくお祈りします。

活動内容

●こども食堂 輪っか

災害支援を通して、みんなで一緒に同じものを食べることは希望になり、孤独・孤立の解消につながると感じました。「みんなの居場所にしたい」と思い、毎週土曜日に開催しており、1年間で3600名以上の方に足を運んでいただきました。食事を食べるだけでなく、様々なイベントを開催しており、市民の居場所にもなり始めています。幅広い世代のボランティアさんも活躍しています。



●キャンパス勝山

2025年10月26日に発会しました。地域に住んでいる看護師や介護士が有償ボランティアにより、既存の医療保険や介護保険ではまかないきれない部分のお手伝いをする有償ボランティアナースの会です。勝山で大切な知人が病気になり、立ち上げることに決めました。受診同行や外出支援など市内外問わず、ご利用いただき日常の可能性や幅を広げるお手伝いをしています。



●勝山輪っか祭り

能登半島地震をきっかけに始まった能登の復興と勝山の夏の賑わいを創出する夏祭り。今年で3回目になりますが、年々パワーアップしており、今年も、能登の復興&防災をテーマに開催します。人との出会いや交流、震災をきっかけにできたご縁を大切にしていきたいと考えています。これからも能登と勝山を繋いでいきたいという想いで企画・運営をしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人)) nurse.saki0722@gmail.com
(電話番号(個人)) 080-4767-2354

Instagram



～ 越前市の伝統工芸産地の活性化と訪問者との橋渡し役を目指して ～

基本情報



【出身地】
鹿児島県南さつま市
【転出元】
東京都北区
【前職】
・(株)地方創生テクノロジー
・(株)星野リゾート・マネジメント
【活動時期】
R7.7～R8.3
(R8.4～更新予定)

協力隊に応募したきっかけ

前職で様々な地域を訪れ、地域の課題解決の取り組みを見る中で、自分自身も地域のプレイヤーとして、自分のスキルや経験を活かしたいと考えるようになりました。また、丹南地域で開催されている産業観光イベント「RENEW」をきっかけにはじめて越前市へ訪問したところ、多くの伝統工芸のすばらしさや地域に根付いた文化や歴史、地域の方の熱量に感動し、越前市地域おこし協力隊へ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

越前市は「越前和紙」「越前打刃物」「越前筆筍」と3つの伝統工芸の産地が集積した、日本全国をみても大変希少な地域です。活動を通じて、伝統工芸の魅力や背景にある文化を、地域の内と外をつなぐ橋渡しのような形で伝えていけたらと考えています。多くの人が伝統工芸の奥深さや面白さに気づききっかけとなり、産地を訪れる人や関わる人が少しずつ増えていくことを目指して日々活動中です！

活動内容

●工芸宿「SUKU」のコンシェルジュ

昨年11月、越前市今立五箇エリア内にオープンした工芸宿「SUKU」を活動拠点に、コンシェルジュ・案内人として活動しています。

SUKUは、“越前和紙を体感する”をコンセプトに、フロントの受付や客室の壁紙、照明、家具など、あらゆる場所に越前和紙を用いており、SUKUの中で過ごすだけで、越前和紙をはじめとした伝統工芸に触れる仕掛けがたくさん施されています。

SUKUのコンシェルジュとして、産地事業者の方々と情報共有を行い、来訪者と地域をつなぐ窓口としての役割を担っており、来訪者の希望や興味関心の分野に合わせて、産地の情報をご紹介します。SUKUでの滞在をきっかけに、「伝統工芸の良さを改めて感じた」「もっと知りたいと思った」といった声をいただくことも増え、とても嬉しく感じています。

今後は、伝統工芸産地の魅力をより多くの方に伝えていけるよう、産地での体験コンテンツや宿泊プランづくり、情報発信などにも注力していきたいと考えています。宿の見学等も行っておりますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(職場)) suku@craftinvitation.jp
(電話番号(職場)) 0778-78-2107

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.instagram.com/suku.hotel/>

～ 永平寺町の農業に新しい可能性を。 ～

基本情報



【年齢】
37歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前職】
団体事務員
【活動時期】
R5.5～R8.4

協力隊に応募したきっかけ

永平寺町には5年程前に旅行で訪れ、「いつか住みたい」と感じました。子供の小学校進学に伴い、福井県の嶺北地域への移住を検討する中で、永平寺町を移住先の第一候補としました。仕事を探していたところ、以前から興味があった農業（果樹）分野での地域おこし協力隊員の募集を見つけ、応募を決めました。

今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
収益性の高い農産物の生産・販売方法の確立

【任期後の目標】
永平寺町内での農業を軸とした事業開発

活動内容

●ブドウの栽培管理

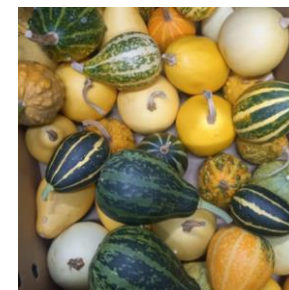
第3セクターである、まちづくり株式会社ZENコネク트가特産化を目指すブドウ（シャインマスカット他）の栽培管理をしています。

生産物は永平寺町で8月に行われる大燈籠ながしというお祭りや、道の駅で販売し、“永平寺町産ブドウ”をPRしています。



●ブドウと複合経営可能な品目の模索

今後就農した際に、ブドウと複合的に経営できるような品目を模索し、六次産業化も視野に入れて、永平寺町で栽培可能か試しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場）） s-nakano-zen@basil.ocn.ne.jp
（電話番号（職場）） 0776-61-3942（永平寺町役場 総合政策課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram: 右の二次元コードより



基本情報



【年齢】
52歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前職】
総合物流・人材派遣業
【活動時期】
R6.4～R9.3（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

子どもの頃に家族旅行で訪れたことがずっと記憶にあり、自分で旅行に行けるようになった年頃に再訪するようになりました。その中でたまたま大きな花火大会と20年続いた漁火想というイベントに出会い、以来30年以上も毎年夏に2回訪れていました。そこへ4年ほど前からキャンプでも訪れるようになり、夏2回から年10回以上に訪問率が上がり、いっそ移住してしまえと思い、どうせなら今までお世話になった高浜町へ何か貢献できたらと思い、地域おこし協力隊の募集に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

そろそろ任期後のことで頭を悩ませる頃かなと思います。その前に、任期中に昔ながらの継続している催物に持続可能な手順を考慮していきたいと思います。まず、高浜町が、地域住民のみなさんが楽しめることを優先していくことで、楽しさや、魅力が町外にも溢れ出るよになればなと思います。退任後は、新たに興味を持った釣り船（遊漁船）を開業して、自然、宿泊、旅行、飲食、施設利用と紐づけて、高浜町内の起点になればなと考えています。でもまだキッチンカーにも挑戦したいと欲張り中です。

活動内容

● 定例のイベント運営

色々な定例のイベントが年3回～あり、会場を決めたり、必要な什器の手配、地元出店者さんへお声かけ、地域の小学校や中学校、町に根付いたイベントの運営などを行っています。古き良きを残しつつ、新たな企画も盛り込んで、どんどん盛り上げていきたいです。



● 有形文化財建物での展示

日々、職場として通っている建物は、実は登録有形文化財として歴史ある建築物で、1階の展示スペースを有効活用して、町にゆかりのある方や福井県内の出展者さんの作品展示をしています。建築物として外観を眺めるだけではなく、中にも入っていただいて、ゆっくり展示作品を鑑賞して欲しいです。



● SNS発信（準備中）

着任して早2年。これまではしていなかったSNSを趣味の釣りやキャンプ、グルメなどを町の風景と一緒に発信していく準備をしています。特に自然と食を中心に、旅先なども一緒に含めて、まずは日本中に町がつながるような活動を目指したいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス（個人or職場））4500motoki.4500morimoto@gmail.com
（電話番号（個人or職場））090-8381-0388

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

≪Instagram≫

<https://www.instagram.com/11motoki/profilecard/?igsh=OWZpbDI4Y3QxMzZk>

基本情報



【年齢】

34歳

【出身地】

ドイツ・ベルリン

【転出元】

ドイツ・ベルリン

【前職】

フリーランスアーティスト

【活動時期】

R7.5～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

2008年に初めて日本を訪れて以来、日本の文化や田舎の暮らしに強く魅了されてきました。

友人から地域おこし協力隊の制度を知り、地域の皆さんと直接つながりながら、意義のある仕事ができる良い機会だと感じて応募しました。

また、日本各地で失われつつある文化や伝統を守り、伝えていく活動にも強い関心を持っています。

これまで約4年間日本に暮らし、全国を旅してきた経験から、日本という国に自分のエネルギーを注ぎ、社会の一員として役立つ形で貢献したいと強く思いました。

今後の抱負・任期後の目標

任期終了後は、これまで培ってきた写真、映像、そしてソーシャルメディアのスキルを活かし、インパウンド・アウトパウンドの両面から観光を健全に促進していきたいと考えています。

また、高浜を地域の皆さんにとってさらに魅力的なまちにするため、PRやまちづくりに関わる企画チームの一員として活動できればと思っています。

高浜の文化を守りながら、新しい観光の形を提案し、町の発展に貢献することが目標です。

将来的には、これらの分野を通じて高浜を支え続け、地域社会の一員として価値のある存在でありたいです。

活動内容

●広報たかはまの編集・記事制作

毎月「広報たかはま」で2ページ（時々4ページ）の記事を担当しています。

写真撮影のために町内のさまざまな場所を訪れ、取材を行い、得た情報をもとに記事を制作しています。役場の担当者と密に連携し、イベントやスケジュールを把握しながら、締切に間に合うよう進行を管理しています。

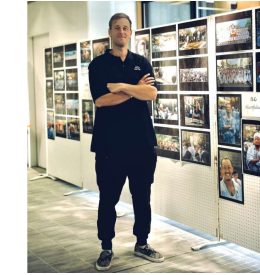


●写真・映像制作と展示活動

主に写真撮影や編集を担当し、イベントや祭りの様子を記録・発信しています。

また、撮影した写真や映像を活用して展示会を企画し、高浜の住民が過去のイベントを振り返ることができる機会を作っています。

これらの活動を通して、高浜の行事や文化を多くの人に知ってもらうことを目指しています。



●地域イベント支援とチーム連携

業務の枠を越えて、同僚のサポートやイベントの運営補助など、さまざまな場面で協力しています。

ツアーや行事に参加して写真や映像を記録し、町の魅力を伝える素材として活用しています。

円滑な業務運営と、地域の皆さんにとって価値のある活動を心がけています。



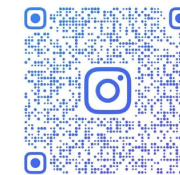
連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス: f.koschella@gmail.com

電話番号: 070 8456 6988

INSTAGRAM >>>



@EIN_TICKET_ZUR_MILCHSTRASSE

～ 米農家と都会をつなぐ 若狭町発の交流モデル～

基本情報



【年 齢】
47歳
【出身地】
奈良県生駒市
【転出元】
大阪府大阪市
【前 職】
医療用医薬品・医療機器
【活動時期】
R5.7～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

約20年間ヘルスケア産業に従事する中で、人々の「健康」や「生きがい」「メンタル」について考える機会が多くあった。一方、学生時代に関心を持っていた環境問題や地域まちづくりを、経済的な視点から解決する取り組みがあれば、仕事として関わりたいと考えようになった。そのような折、熊川宿をフィールドとしたウェルネスツーリズムの開発・展開という方向性があることを知り、若狭町の、豊かな自然環境や農村の持つポテンシャル、そして官民が連携して地域づくりに取り組む風土に魅力を感じた。そこで、これまでの経験や知識を地域の活性化に活かせるのではないかと考え、地域おこし協力隊に応募。

今後の抱負・任期後の目標

セールス&マーケティングの経験と町内のコミュニティ活動を背景に、都市部消費者への若狭町産米の直販を行う。直販はひとつのきっかけとして考え、若狭町コメ農家と若狭町の認知拡大を目指し、YouTube番組の立ち上げ、農家売り込み用のチラシなど資料の作成、都会部のマルシェ出店などを通じて、若狭町とコメ農家のファン作りの基礎を作りつつ、持続可能な販路拡大と、関係人口の創出を目指す。任期後も関西など主要地域と若狭町のコメ農家をつなぐ架け橋としてコンサルティング活動等に従事する予定。

活動内容

●地域資源（米）を起点に都市との関係人口を創出

令和の米騒動と呼ばれる米価高騰の影響により、安心して購入できる良質なお米を求める都市部の消費者が増えている。一方で、若狭町の米農家は、安定的な販路として都市部消費者との直接的なつながりを求めている。そこで、米をきっかけに都市部の消費者と若狭町の米農家を結びつける取り組みとして、農家の個性や想いを伝える直販活動を開始。ターゲットを明確に設定し、お米と農家の特徴に応じたポジショニングを整理することで、消費者が「選ぶ楽しみ」と「農家とのつながり」を感じられる仕組みを構築している。具体的には、小規模な直販活動を起点に、農家の人柄や想いを伝える3月末YouTube番組の配信、4月都市部マルシェの出店などを通じて、若狭町の魅力や農家の人柄を発信している。



これらの取り組みにより、若狭町のお米を手に入ることを入口として、町への関心を高め、観光や訪問につながる関係人口の創出を目指している。

●担当職員と協力して移住定住施策の提案と実行

全国で移住定住施策は進められるなか、若狭町の本事業は停滞気味であり、なにごと課題なのかを浮き彫りにすると共に、町の魅力向上にも資するような、これまでにないゼロベースでの提案を行う。イベントの企画や運営、既存のアピール手段の見直しなど、事業のプラットフォームにも関わりながら、マーケティングの視点で事業推進の一翼を担う。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) yterany@gmail.com
(電話番号(個人)) 090-3966-0706

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(YouTube限定配信) <https://www.youtube.com/channel/UC9IZpmV2y2HWJvz6Xlnwl-w>
(ブログ) <https://middle-life.com/>

～ 三方五湖を活用したエコツーリズムの推進 ～

基本情報



【年齢】
26歳
【出身地】
愛知県大府市
【転出元】
愛知県大府市
【前職】
メーカー営業
【活動時期】
R6.9～R9.9

協力隊に応募したきっかけ

幼少期より家族で訪れ、良い思い出のある若狭町で新たなことに挑戦するチャンスだと考えたため。

今後の抱負・任期後の目標

ミッションであるエコツーリズムの推進を通じて、若狭町の観光活性化に貢献していくこと。

活動内容

●エコツーリズム推進

三方五湖を活用したカヤックツアーを開始しました。
来年度はSUPツアーも開始できるよう準備を進めています。



●地域の方と体験コンテンツ作り

エコツーリズム以外にも地域の方と一緒に体験コンテンツを造成し、販売を目指しています。



●営業活動

若狭町の魅力を発信するため、商談会などにも積極的に参加しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) watanabe24917@gmail.com
(電話番号(個人)) 080-8258-7495

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/outdoor_wakasa?igsh=cHIwbzRkNzlhM3E%3D&utm_source=qr

～ SDGs推進で持続可能な地域づくり SDGsコーディネーター ～

基本情報



【年 齢】
62歳
【出身地】
愛媛県新居浜市
【転出元】
東京都府中市
【前 職】
会社員
(サッポロビール)
【活動時期】
R5.9～R8.8

協力隊に応募したきっかけ

生活の基礎である衣食住においては、体の健康を保つうえで「食」が重要と考えております。日本の食の安心安全は経済合理性を優先し輸入に頼りすぎにの状況です。前職退職後は自給率の改善に貢献できる仕事に就きたいと考えておりましたところ、福井県でSDGsコーディネーターの募集があり、チャレンジしたいと思い応募し、採用していただきました。

今後の抱負・任期後の目標

本年8月に退任予定ですが、それまではSDGsコーディネーターとしてこれまで取り組んできた食品残渣の活用、食品ロスの削減につながる活動を継続します。特に酒粕の廃棄削減につながる実行性のある施策に取り組みたいと考えております。退任後は福井県地域活性化協同組合に参画し福井県に定住します。海老油の全国展開、酒粕活用の福井の新名物の開発等食品の製造販売を主に地域活性化に寄与したいと考えております。

活動内容

●三国港の甘えびむき身加工後の殻の活用

三国港では甘えびをむき身加工し、ふるさと納税や直販等を行っておりますが、加工後の殻が産業廃棄物として有料廃棄していてもったいない状況でした。甘えびの殻をパウダーにして販売している水産加工業者さんに出会い、販売強化を手伝うことで殻の消費量を増やすことに注力しました。



●甘えびの殻を活用し若狭高校と共同で海老油の開発

甘えびの殻の活用を模索する中で、海老油の製造に成功し、高校連動担当永野さんと油に浸かった殻の農業利用担当の佐瀬さんを3名で協力隊共同事業としてスタート。若狭高校と共同で容器パッケージを決定し、製造許可のある施設に製造委託し、6月の大阪・関西万博のイベントで販売。



●酒粕の家庭用利用の促進と酒粕使用の商品開発

福井県の酒粕の廃棄量を減らすため、家庭用利用の促進に向けた料理教室と酒粕を使った商品開発をめざしたレシピコンテストを開催。11月16日料理教室14名、12月～3月8日レシピコンテスト16作品の応募。優秀賞については今後本格な商品化に向け製造業者と商談予定



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) hideki13kure@gmail.com
(電話番号(個人)) 080-5454-6703

～ SDGs推進で持続可能な地域づくり SDGsコーディネーター ～

基本情報



【年齢】
38歳
【出身地】
石川県金沢市
【転出元】
大阪府池田市
【前職】
小売業(通販)
【活動時期】
R5.9～R8.8

協力隊に応募したきっかけ

大阪で働いていた頃から地方創生やローカルな暮らしに関心があり、日本の地域にはサステナブルな知恵や文化が多く残っていると感じていました。2020年にご縁をきっかけに福井県小浜市の民宿再生プロジェクトに参画し移住、地域おこし協力隊として活動しました。任期を通して地域の人や営みと関わる中で、サステナブルな地域づくりに関わり続けたいという想いが強まり、その後募集のあった福井県の地域おこし協力隊(SDGsコーディネーター)に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期も残り半年となるため、これまで関わってきた事業者やプロジェクトの取組を継続しながら、任期終了後も福井県のSDGs活動が円滑に続いていくよう、引き継ぎや体制・仕組みづくりを意識して活動していきたいと考えています。任期後は、協力隊活動で得たご縁を活かし、小さな宿の運営とサステナブルな観光・宿泊事業のサポートに取り組みみたいです。また自身の暮らしも循環型へとシフトさせ、その実践の場づくりを進め、地域の方や関心のある人が関われるコミュニティを育てていきたいと考えています。

活動内容

●SDGs交流イベントの企画・運営

県内事業者や専門家をゲストに招き、学びと交流を目的としたイベント「WEAK TIES BASE」を企画・運営。テーマに基づくトークと交流を通じて、行政・企業・個人事業主など多様な参加者のネットワーク形成を促進し、事業者同士がゆるやかにつながり協働のきっかけを生む場づくりを行っています。



●藻場造成ブルーカーボン事業サポート

県内の企業と大学が連携し、日本海の海洋環境に適したブルーカーボン創出を目指す研究プロジェクト。海藻着生を促す藻礁サンプルを海中に設置し、生育状況の実証実験を実施中。主に企業と大学の意向調整や進行サポートなど、連携の調整役として携わっています。



●環境イベントの企画・運営サポート

マインドの近い事業者同士をお繋ぎしたことから立ち上がった「アースデイ若狭実行委員会」に事務局として参画。映画上映やトークイベントなどのプレ企画を実施し、2026年10月には若狭町で初の本イベントを開催。マルシェや音楽・トークを通じて、地域の暮らしと環境を結びつける交流の場づくりを行った。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) tokugawa323@gmail.com
(電話番号(個人)) 080-3743-6379

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(facebook) <https://www.facebook.com/share/1GbpFH9tL6/?mibextid=wwXlfr>

～ SDGs推進で持続可能な地域づくり SDGsコーディネーター ～

基本情報



【年齢】
56歳
【出身地】
東京都中野区
【転出元】
東京都中野区
【前職】
総合商社
【活動時期】
R5.10～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

東京のど真ん中で50歳を境に「60歳までこのまま同じ生活でいいの？本当は何がしたい？私は東京でしか生きたことがないからいつか自然の中で暮らしたいという夢がある」とふと立ち止まりもう自分に嘘がつけない、一度リセットしようと、これまでのキャリアや産まれた時から在る心地よいフィールド、住み慣れた町や仲間のもとから飛び出しました。なんにも決めずに自分を信じて「今ここ」に集中するため、地域おこし協力隊となり単身移住。

今後の抱負・任期後の目標

- ・自然の中で暮らすという夢をかなえる～サーキュラーで心地よい自分の拠点作りと、そこに集う友人や家族と地球とともに幸せに生きる豊かな暮らしを実現する。
- ・一般社団法人ぐるぐるふくいのサーキュラーエコノミー事業の取組を形にしていきます。人々に「愛着ある暮らし方」を提案していきたいと思っています。

活動内容

●ぐるぐるふくいの運営：一般社団法人ぐるぐるふくい設立

産学官「ぐるぐるふくい2024」イベント発起人
県内繊維企業を中心としたサーキュラーエコノミーの取組を展開、2025/10に（一社）ぐるぐるふくいの代表理事になる。令和7年度環境省「循環型ビジネスモデル実証事業」を採択、福井県の繊維廃材でリサイクル糸を企画開発する（ぐるぐるヤーン誕生）



●地域産業の課題解決と市場連携1

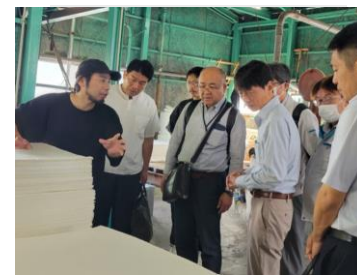
【東京市場との連動】 - 市場の専門家呼び、繋ぐ
・有機米、ジビエ、製塩所、蕎麦、ワイナリー、認定こども園、伝統工芸等県内SDGsパートナー企業の伴走支援・商材開発／パートナー同士のマッチング、プロジェクトマネジメントを行う。エデュテイメント事業、食事業等で引き続き市場連携

氏名	所属	担当	連絡先
佐保子	ぐるぐるふくい	代表理事	abe@cho-jiya.jp
...

●地域産業の課題解決と市場連携2

【県外企業との連動】 - 伝統産業と先端技術を繋ぐ
・養蚕プラントの誘致（現在保留中）
・立体和紙技術（特許取得済・用途開発検討中）

1500年の歴史があるシルクと和紙の産地、福井県の資源を生かした特殊事業開発への取組



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））abe@cho-jiya.jp
（電話番号（個人））090-3317-2676
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ぐるぐるふくい） <https://gurugurufukui.jp/>
（個人） <https://www.facebook.com/sahoko.abe>

ぐるぐるふくい公式HP・インスタ



演劇とワークショップの専門知識を生かした「場づくり」のプロ~

基本情報



【年齢】
29歳
【出身地】
東京都目黒区
【転出元】
同上
【前職】
キャリアコンサルタント
【活動時期】
R6年10月~現在

協力隊に応募したきっかけ

応募用紙にあった「幸福度日本一のその先へ。多様性を尊重し、一人一人がもっと豊かに生きられる『幸せ実感社会』を実現」という理念に強く共感したため。私自身東京で生きづらさを抱える若者の就労支援をしたり、児童館や演劇活動を通じて子どもや障がい者の方々と関わっている中で「自分らしく生きられる社会の実現」を強く望むようになり、福井県で活動する中でその具体的な「形」が見つかるのではないかと思ったため。

今後の抱負・任期後の目標

文化・芸術の観点から、県民の皆さんが自分らしく気軽に表現活動ができ、そしてつながりあえる「小劇場」のような文化の拠点を作ろうと動いています。そのために小規模なプロジェクトや発信業務を行い、共感者を集め、仲間を増やしていこうと考えています。

活動内容

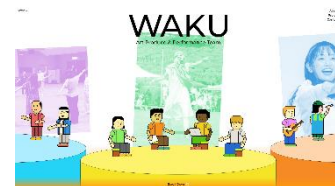
●ふくいときどき劇場（市民劇）

福井県民18名を集め、「ゼロから演劇を創る」というコンセプトと「演劇×対話」というキーワードを掲げて7月から1月にかけての約半年間で演劇を創りました。ほとんどが未経験の方たちでしたが、12月と1月に実施した公演は満席で275枚のチケットが売れました。



●WAKUの立ち上げ

演劇や音楽、ワークショップなど様々なプロジェクトを企画し、運営していくためにアート活動の企画・運営を行う「WAKU」という団体を立ち上げました。2025年3月に立ち上がり、既に15を超えるプロジェクトを実施しました。HPも完成しました。



●松岡小学校 PTA企画 親子ふれあいデー『イメジャーと学ぶウェルビーイングのヒント』

「小学校にもわかりやすくウェルビーイングの概念を伝えるには？」という問いから演劇的手法を応用してヒーローショーのような形で10分の寸劇や親子で対話するワークショップを行いました。校長先生やPTA会長が役を演じるなど個性的な企画となりました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(職場)) mirai-senryaku@pref.fukui.lg.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram→



全国唯一・史上初の医師×公認心理師の地域おこし協力隊員～

基本情報



【年 齢】
43歳
【出身地】
福井県福井市
【転出元】
大阪府
【前 職】
医師
【活動時期】
R7.9～現職

協力隊に応募したきっかけ

大学から福井を離れていましたが、以前から何らかの形で地元福井に貢献したいという思いを持っていました。特に医師として様々な方に接する中で「ウェルビーイング」の根幹には「健康」が必須であることを痛感していましたが、なかなか医療の実際の現場から変えていくことは難しく、数年前からネットを用いた情報発信を行っていました。そんな中で、たまたま偶然に今回の福井県地域おこし協力隊員の募集を発見し、即応募しました！

今後の抱負・任期後の目標

ウェルビーイングを担う全国唯一・史上初の医師×公認心理師の地域おこし協力隊員として、またSNSを活用した情報発信で培ってきたノウハウを活かして、福井のウェルビーイングの向上に貢献したいと思います。特に幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の活動はnoteなどで発信していますので、是非フォローしてみてください！



活動内容

● 済生会フェア2025 「みんなで快眠！ おやすみ力UP講座」

福井県済生会病院で開催されている済生会フェアにおいて、ウェルビーイングコーディネーターの立場からリラクゼーション法としての「自律訓練法」をご紹介し、皆で実践しました。



● パブリックビューイング前後での心理指標測定

福井ブローウィンズの試合のパブリックビューイングにおいて、試合前後で心理尺度を測定しました。活気のある・わくわくなどのポジティブ感情の変化だけでなく、ドキドキ・ハラハラなどのネガティブ感情の変化があることもわかりました。今後学会で発表予定です。



● 松岡小学校PTA 親子ふれあいデー 「イメメンジャーに学ぶ ウェルビーイングのヒント」

松岡小学校のPTAの会においてとして、小学生・保護者の方向けに、演劇を含むワークショップを行いました！アンケート結果では、低学年～高学年まで、非常に学びの多い企画であったようで、皆のウェルビーイングを考える機会になりました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（職場） mirai-senryaku@pref.fukui.lg.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://sites.google.com/view/yoichiohtake-naikaitakeo>



～ 隊員と地域、自治体を繋ぎ「三方よし」を応援 地域おこしマネージャー ～

基本情報



【年齢】
57歳
【出身地】
福井県越前市
(旧武生市)
【転出元】
東京都練馬区
【前職】
個人事業主
(ワイン専門店経営)
【活動時期】
R5.9～

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍をきっかけに働き方や生き方を見つめ直すなかで、故郷・福井への思いが強まりました。北陸新幹線延伸という大きな節目を前に、これまで培ってきた経験を地元の未来に役立てたい——そう考えていた時に出会ったのが、地域おこしマネージャーの募集でした。地域と人をつなぎ、新しい挑戦を支える役割は、自身のこれまでのキャリアにも重なるもの。故郷への恩返しの一歩として、また地元で活動していくための基盤づくりとして、この挑戦を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊の伴走支援や自治体担当者との連携を通じて、隊員・地域・行政をつなぐコーディネートに取り組んできました。卒隊後はこの経験を活かし、県市町における協力隊の募集設計や受入体制づくりなど自治体支援を強化するとともに、都市部と福井をつなぐ関係人口の創出にも取り組みたいと考えています。また、東京で培ったワイン・飲食事業の経験を活かし、福井の食や地域資源の魅力を発信する取り組みも展開していきたいと考えています。

活動内容

① 挑戦を支える支援・伴走サポート | 隊員サポート

隊員一人ひとりの活動に寄り添い、定期面談や個別相談を通じて継続的な支援・伴走を行います。新しい環境で活動を始める隊員の不安を軽減し、起業・就職・定住など任期後を見据えた出口設計の相談にも対応しながら、隊員が地域で能力を発揮できる環境づくりをサポートします。



② 制度を活かす募集・体制づくり | 担当者サポート

ミスマッチを防ぎ、「三方よし」を実現するために最も重要なのが「募集設計」です。募集を検討し始めた段階から、ぜひご相談ください。また、協力隊受入前の心構えや体制整備、隊員と行政の目線合わせを通じて、制度が個人任せにならない、持続可能な仕組みづくりをバックアップします。



③ つながりの創出と場づくり | 研修の企画・実施

隊員や自治体担当者が学び、つながる機会を創出。研修会や交流会を企画・実施し、地域で活動するための心構えや相互理解を深めるとともに、隊員同士のネットワークづくりを促進します。こうした取り組みにより、移住や地域での活動が定住につながる持続可能な環境づくりを後押しします。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス (個人)

つなぐ株式会社 ikeda@tsunagu-fukui.com
ピクール (ワイン事業) ikeda@pcoeur.com

電話番号 (個人) 090-4918-5213

～活動を支援し地域貢献 地域おこしマネージャー～

基本情報



【年齢】
45歳
【出身地】
滋賀県長浜市
【転出元】
東京都町田市
【前職】
フリーランス
【活動時期】
R7.5～

協力隊に応募したきっかけ

当時、縁の下の力持ちになる部活のマネージャーのような人物を探されていた福井県の募集が目にとまり、自らの経験が活かせるのではないかと志望しました。隣県出身の私にとって福井は身近な存在でしたが、まだ知らない魅力に出会えるこの地こそ、経験を最大限に発揮し、地域に関わっていける場だと感じています。

今後の抱負・任期後の目標

活動を通じて培った地域とのネットワークや、任期中に習得した知識を活かし、都市部と地域の架け橋役を担いたいと考えています。また福井独自のマネージャーの役割を一つのモデルケースとして、そのノウハウを他自治体へも波及させていくことが目標です。

活動内容

● 隊員サポート

隊員は、新しい環境でのリズムを掴みきれていない中で活動がスタートします。マネージャーがいることで少しでも不安を取り除くよう努め、相談がしやすい環境づくりを模索しながら、隊員が本来持っている能力をここ福井で発揮できるように日々の活動から任期後までのサポートをしています。



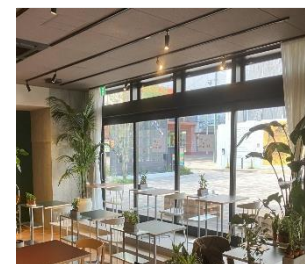
● 担当者サポート

隊員の数だけ担当者の皆様が配属されており、その両者が新任であることも少なくありません。募集の企画段階から受け入れ、実際の活動まで、具体的な事例を挙げながら、不安を取り除くための助言に努めています。



● 研修企画と場づくり

隊員や担当者を集い研修会を開催しています。役割や活動内容も様々なメンバーが、地域で活動する心構えや相互理解を深めることを目的としています。これからも隊員や関係者同士がつながる場や、定住に向けて相談し合える空間を創出出来るよう、地域に根ざした持続可能な場づくりを後押しします。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス (個人or職場)) sswtap@gmail.com
(電話番号 (個人or職場)) 080-1624-2109

～ 企業版ふるさと納税コーディネーター ～

福井県まち・ひと・しごと創生寄付活用事業への企業版ふるさと納税寄付を獲得（県外企業の新規開拓・営業）

基本情報



【年齢】
64歳
【出身地】
埼玉県三郷市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前職】
個人事業主（会社経営）
【活動時期】
R7.9～

協力隊に応募したきっかけ

シニア世代を迎え、これまで培ってきた知的財産を「世の中（地域）に活かしたい」という気持ちが高まりました。いろいろ調べると「（福井県）地域おこし協力隊」の募集が目に入りました。これは「若い人対象の募集」だと思いましたが、「高度人材募集」（即戦力）という文字が書かれており、「もしかして自分にもチャンスがあるかも・・・」と気持ちを切り替えて（駄目もとで）挑戦を決意。「気持ちと地域とスキルがマッチングしたこと」が応募のきっかけになりました。「幸福度日本一の福井県」でどれだけ貢献できるか「ワクワク」しております。

今後の抱負・任期後の目標

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）募集活動は、魅力ある福井県を「さらに高める目的」で資金を集める取り組み。しかし認知（理解）が低いことが課題。個人版には「返礼品」という明確な「寄付する理由」がありますが、企業版には「法人税の優遇」が多少あるとはいえ「ほぼ無い」のが現状。（知恵を絞って）この部分を埋めることが当面のミッション。任期終了は「ファンドレイザー（寄付獲得の専門職）」の資格を取得してコンサル活動を行うか、地方自治体（市町）のサポート役を目指します。

活動内容

●福井県と「地縁のあるマーケット」へ働きかける

日本に点在する福井出身者の団体として「県人会」組織があります。東京・大阪・名古屋・京都には「県事務所」があり、そこを中心に歴史ある組織が存在しています。「日本一社長が多い」福井県なので「経営者層へのPR効果が期待できる」と考えます。「高齢化問題」もありますが、地道に活動することから（紹介を意識しながら）理解を深めたいと思っております。



●「企業版ふるさと納税」の理解・啓蒙と企業ニーズの把握

企業・官庁・自治体を繋げる組織「企業×ふるさと推進機構」という組織ができました。地域の未来を創る「地方創生プラットフォーム」。年3回のペースでフォーラムが開催され、「（意志決定者同士）直接対話ができる環境」が整い、成功体験が共有され、相互理解が深まることが期待されています。このフォーラム以外にも新たな環境（セミナー）が生まれており、「企業ニーズを知ること」ができれば「寄付への期待」可能性も高まります。

●寄付事業の提案（企業ニーズを反映した事業）を行う

現在募集している事業（約17事業）とは別に、「（企業が）新たに取り組む予定の事業計画」を汲み取った内容を推進させることで、「企業版ふるさと納税」をきっかけにした事業展開（地方公共団体と企業連携による共同プロジェクト・パートナーシップ関係構築・包括連携協定の締結）の可能性が広がります。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス（個人）） akihiko.yamazaki3693@gmail.com
（電話番号（個人）） 090-2307-7416



～ショッピングモールでの若者の居場所づくり～

基本情報



【年齢】
29歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
福井県
【前職】
ITベンチャー
【活動時期】
R5.10～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

大学で教員免許を取得し、当初は学校の先生になることも考えていました。

しかし、子どもたちの将来を考える中で、まず社会そのものを知ることが必要だと感じ、民間企業に就職しました。

働く中で、若者が夢中になれるものを見つけるには、学校の外にも多くのきっかけが必要だと感じました。

学校外から若者の挑戦を応援する環境をつくりたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は、一般社団法人として若者の居場所づくりの活動を継続していきたいと考えています。

また、学生が地域や社会と自然につながる仕組みづくりにも取り組みたいと思っています。

不登校をはじめ、学校に違和感を感じている子どもたちにとっても、安心して過ごせる場所や新しい学び・挑戦の機会を広げていきたいです。

活動内容

●若者の居場所：こみかるの運営

ショッピングモールを拠点に、若者が気軽に集まれる居場所「こみかる」を運営しています。

中高生や大学生を中心に交流が生まれる場所です。

勉強、雑談、企画づくりなど自由に過ごすことができます。

現在は県内9拠点に広がっています。

年間延べ約2,000人が訪れる場になっています。



●20代の交流会 ひよっこの運営

20代がつながるコミュニティ「ひよっこの会」を立ち上げました。交流会やイベントを定期的開催しています。

大学生から若手社会人、延べ約150人が参加しています。

会社や学校とは、異なるコミュニティになることで若者同士の横のネットワークづくりを行っています。



●地域企業の課題を若者が解決する「無責任ブレスト」

地域の企業を訪問し、高校生から20代が集まりブレインストーミングを行います。

企業の課題について自由に意見を出し合う企画です。

「なぜ出会いたいののに付き合わないのか(結婚ブレスト)」

「小売業はなぜ人気なくなったのか」などのテーマを扱いました。地域と若者をつなぐ対話の場づくりを行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人)) fukuicoc@gmail.com

(電話番号(個人)) 070-8543-5121

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(こみかるHP) <https://comicalyouth.jp/>

(塚原インスタ) <https://www.instagram.com/fukuicoc/>

基本情報



【年齢】43歳
【出身地】兵庫県神戸市
【転出元】福井県越前市
【前職】
木製雑貨商品ディレクター
【活動時期】
R6.9～

協力隊に応募したきっかけ

子育て環境の変化から、東京から奥さんの実家がある福井へ移住を考えていた。前職の職能からモノづくり支援の仕事を検討しており、募集されていた「若者チャレンジ応援」の地域おこしミッションの中で、それを叶えられると考えたため。

今後の抱負・任期後の目標

若手のモノづくり人材の挑戦を応援。その挑戦が作ることだけにとどまらず、その出口から設計することで、社会や経済に接続したモノづくりを目指す。

活動内容

●【工芸】の若手モノづくり応援

工芸の若手職人の商品開発。県内・県外事業者と若手職人が活躍する舞台づくり。県外バイヤーやデザイナーとのマッチングなど。



●【福祉】の若手モノづくり応援

特別支援学校高校生と木工の商品開発授業。地域事業者（製材や植林など）と協力した木工を通じた環境教育授業など。



●【その他】全般の若手挑戦者の応援

若手が挑戦をプレゼンし、COEと呼ばれる経営者集団がアドバイスや支援策を提示するイベント「チャレンジ登りゅう門」の事務局運営。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス（個人））take.matsuda69@gmail.com

（電話番号（個人））080-5337-9266

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

https://www.instagram.com/takeshi_mazda/（個人）

～福井の若者にエンタメ文化を伝えたい～

基本情報



【年齢】
26歳
【出身地】
福井県勝山市
【転出元】
埼玉県
【前職】
アイドル (AKB48)
【活動時期】
R6.9～

協力隊に応募したきっかけ

AKB48として5年半の活動経験がありますが、加入当初から福井県に関わる仕事をずっとしたいと思っていました。卒業後からFM福井、FBCラジオ出演、地元勝山市の市政70周年キャンペーンの広報アンバサダー就任、道の駅イベントMCなど、県での仕事を経験させていただき、福井県全体に携わる仕事をプロジェクトの企画・運営に深く関わりたいと考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

福井県はエンタメが少ないことや、エンタメにお金を落とす文化があまりないと感じています。そこで【元AKB48 × 地域おこし協力隊】という立場を活かして何ができるんだろうと考えたとき、「多田京加」がいるから福井県に行くという新しいエンタメの形を少しでも作っていけたら、福井県のエンタメ普及に貢献できるのでは考えており、当面の目標としています。

活動内容

●チャレンジする若者たちの活動をSNSで紹介

チャレンジ応援チームと個人のSNSで福井県で活躍している若者たちの活動やイベントなどを発信しています。県内各地で挑戦に取り組む若者を紹介することで「こんな同年代が頑張っている」「自分も挑戦してみたい」と思えるきっかけづくりを行っています。



●アイドル活動に興味のある若者の育成

アイドル活動に興味を持つ県内の中高生4人を対象に、ダンスレッスンを実施しました。レッスンでは、振り付けだけでなく、ステージでの立ち方や魅せ方、観客への伝え方など、元AKB48として培った実践的なポイントを指導し、チャレンジ応援文化祭で披露しました。



●福井のエンタメを集結させたイベントを開催

チャレンジする県内の若者たちエンターテインメントを表現する場所を創出するために「きよんフェス」を開催。エンタメに触れてもらうことで、若者チャレンジの機運醸成につなげるため、高校生による和太鼓や地域文化団体、ヒーローショーなど福井ならではの出演者とコラボしたステージを実施しました。



連絡先

【活動の様子を発信して連絡先】
(メールアドレス (個人いるSNS・ブログなど)
(インスタ) <https://www.instagram.com/kyoka.coc.0v0/>

～ 若者の自然な出会いをつくる！ はぴ縁コネクター ～

基本情報



【年齢】
36歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
京都府八幡市
【前職】
メーカー
【活動時期】
R7.9～R10.8

協力隊に応募したきっかけ

以前はタイと日本の2拠点で暮らしていました。日本には過ごしやすい春と秋に滞在するというライフスタイルでしたが、2025年4月に福井県越前市を訪れた際、その美しさに心を奪われ「ここに住みたい」と強く感じました。
福井での起業を志して補助金等の情報収集をする中で、福井県庁HPにて地域おこし協力隊の募集と出会い、これこそ自分の進む道だと確信し応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

まずははぴ縁コネクターとして、福井の出会いと恋愛を全力で盛り上げていきます。
その活動で積み上げた知見と、得意なSNS・AI活用を掛け合わせながら、任期中に自らの会社を設立し本格的に事業をスタートさせる予定です。7アカウント計15万フォロワーで培ったSNS運用のロジックと再現性を武器に、任期後には会社を軌道に乗せることを目指しています。

活動内容

●若者のリアルな声やニーズのヒアリング

「若者の自然な出会いをつくる」が私のミッションです。独りよがりの活動にならないよう、20代を中心とした若者の恋愛観や求めているサポート、参加したいイベント像など、当事者のリアルな声を丁寧にヒアリングすることに注力しています。



●出会いイベントの仕組みや集客サポート

福井県内で出会いイベントを新たに始めたい民間のイベント者に対し、企画の立ち上げ方から集客ノウハウまで幅広くサポートしています。得意分野であるInstagramを活用したプロモーションや公式LINEの運用アドバイスも行い、ご要望に応じて当日の司会・盛り上げ役も務めています。



●自らも出会いのイベント企画

全国的にもまだ少ない「内向的な方が安心して参加できるイベント」の企画に力を入れています。
直近ではZoomを活用した少人数のオンライン出会いイベントを企画・実施しました。今後は100人規模の大型イベントの開催を目指しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) tengyuan.daichi@gmail.com
(電話番号(職場)) 0776-20-0362 (福井県県民協働課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) https://www.instagram.com/okute_lab/

～ まちなか水辺のコーディネーター ～

基本情報



【年齢】
37歳
【出身地】
福井県坂井市
【転出元】
愛知県碧南市
【前職】
会社員（理学療法士）
【活動時期】
R6.6～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

私が地域おこし協力隊に応募したきっかけは、医療従事者として働きながら地域活動にも取り組んでいる友人に声をかけてもらったことでした。それまで私は医療現場で病気を患った方と関わる中で、人は「体験」や「環境」によってエンパワーメントが促進され、暮らしの豊かさにつながっていくのだと実感していました。元々登山やキャンプが好きだったこともあり、川辺での自然体験活動に携わること、地域の人たちにとっての新しい出会いにつながる場づくりになるかもしれないと感じ、強く惹かれました。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負としては、足羽川河川敷の「ヨリバ」というフィールドで安全に配慮しながら、子どもから大人まで安心して自然体験を楽しめる機会を継続的に提供し、「まちなか水辺」の賑わいづくりに長期的に貢献していきたいです。任期後は、県内企業に勤めながら、事業の一部を外部委託で請け負うことで関わり続けていきたいと考えています。立場を変えながらも地域の一員として関わり続け、ヨリバがより地域に根付いていくことが任期後の目標です。

活動内容

●まちなかアウトドア体験

大きなテントや照明、焚火台などを設え、誰もが気軽に自然に触れられる場づくりを行い、アウトドア初心者や子ども連れのご家族でも安心して参加できる仕組みをつくっています。また焚火を囲みながら音楽や地域の食、体験型コンテンツを組み合わせ、非日常的な空間・時間そのものを楽しんでもらう企画を展開しています。



●水上アクティビティ

拠点である「ヨリバ」にはSUPも備えており、定期的にSUP体験会を開催しています。水面に立って進む新しい感覚は参加者からの人気も高く、リピーターも増えています。単に「遊ぶ」だけでなく、水の流れの特徴や川の危険箇所の見分け方なども伝えながら、子どもたちが自ら考え、行動できる力を育むことを大切にしています。



●雪遊びイベント

冬だからこそその自然の魅力を活かした雪遊びイベントを実施しています。雪中キャンプ企画ではホットサンドや燻製など簡単な調理器具を使った簡単アウトドア料理体験は満足度が高いです。また十分な積雪があれば大型すべり台を設置するなど「ヨリバに来れば、四季を通して自然体験ができる」と実感してもらえる仕組み化を目指し、企画運営をしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））to_yamanishi@ftmo.co.jp
（電話番号（個人））080-6353-5172
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/yoriver_activity_chiikiokoshi/?hl=ja



～地域の賑わい創出に向けて、稼ぐローカルの仕組みを構築し、エリアの価値を高める～

基本情報



【年齢】
40歳
【出身地】
滋賀県
【転出元】
東京都
福井県勝山市
【前職】
勝山市地域おこし協力隊
【活動時期】
R7.9～

協力隊に応募したきっかけ

地域の中にある人や資源を見つけ、外とつなぎながら、新たな動きにつなげていくというプロセスは、これまで自分が取り組んできた仕事の延長にあります。これまで京都や福井を拠点に、事業づくりや関係人口の創出に関わってきた中で、本事業のような役割を自然に担ってきた側面もあり、自分の経験をそのまま活かしながら、より広い視点で取り組めると感じ、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

東京から勝山市に拠点を移してから5年間、地域内外の人とつながりながら事業を展開してきました。こうした関係性をさらに発展させ、エリア価値を高めていくとともに新しく福井県内で活躍したいプレイヤーの伴走できる立場として、さらに福井に貢献したいと考えています。

活動内容

●県内外で活躍するプレイヤーやフィールドの発掘

県内外で活躍するプレイヤーに直接訪問したり、県外でのコミュニティに積極的に参加し、県担当課である新幹線政策連携室職員と2人で動いています。これまで関東や関西在住のマーケティング、林業、建築デザイン等様々な分野で活躍する方々、コミュニティを発掘し、福井でのプロジェクト構想を考えています。



●首都圏向けイベントの開催

移住・定住ではなく、「二拠点・多拠点・季節滞在」等、今の暮らしのまま始められる地域との関わり方を、実践者と受け入れ側のリアルな視点から紹介し、都市に暮らしながら地域ともつながる“ちょうどいい距離感”を探ることで、心理的ハードルを下げ、福井をフィールドとした最初の一歩を踏み出す場をつくりました。



●県内外のプレイヤーとローカルのマッチング

地域の賑わい創出に向けて、稼ぐローカルの仕組みを構築するため、プレイヤーと地域それぞれ関係性を築きながら、双方をマッチングし、エリア価値を高めるプロジェクトを皆で考えています。



連絡先

【活動の様子を発信して連絡先】
(メールアドレス)
shin-renkei@pref.fukui.lg.jp

～ 敦賀・若狭エリアの魅力を第一線で発信！ ～

基本情報



【年齢】
56歳

【出身地】
千葉県

【転出元】
東京都摩市

【前職】
旅行会社

【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

大学で観光を学び、特に観光地の情報発信に興味を持ちました。その後、旅行会社に30年以上勤務し、これらの経験を地域の観光振興に活かしたいと思いました。

敦賀・若狭エリアは、海・川・湖・里・山と自然が揃っており、独特の文化や歴史を有しています。また高級食材であるフグやカニなどの鮮度良い海産物の豊富さ、へしこや小鯛ささ漬け、浜焼き鯖などの伝統食の魅力も備えています。観光素材の多さに惹かれました。

今後の抱負・任期後の目標

情報発信の技術・方法は目まぐるしく進化しています。必要なスキルを習得して、地域の魅力を広めたいと思います。また担当エリアが6市町に渡るため、エリア内の連携に繋がる発想が必要です。今後取材を通して、その答えを探っていきます。任期後も引き続き情報発信を中心とした業務に携わりたいですが、しばらくは取材を通して地域への理解を深め、人脈を構築することを目標としています。

活動内容

●特集記事の作成

福井県敦賀・若狭エリアの自然、歴史・文化、食などに関する特集記事を作成し、観光情報の発信を行っています。

長年旅行会社に勤めていた経験を活かした宿泊体験記事から、カフェ特集など、様々なジャンルの記事を作成しています！

関西から小浜に「焼き鯖すし」を買いに来る理由 (福井県小浜市)

2026.02.19 (Thu)

記事

空井「焼き鯖すし」で有名な若狭本社を訪問してみました /



敦賀・若狭エリア魅力発信ライター・山田です。

小浜市に居住して、4ヶ月が過ぎました。まだまだ知らないことは多いですが、生活して実感するのが地域における観光文化の多様性。土産物屋にはたくさんのお土産が売られ、へしこの種類も豊富です。小浜特産という量産干しはどこのスーパーでも置いてありますし、僕人向けにのりいしは鯖すしの存在です。

●各種SNSによる情報発信

Instagramやnoteなど、各種SNSでも敦賀・若狭エリアの魅力を様々な角度から紹介しています。観光地や店舗の紹介だけでなく、移住者として日々の暮らしにフォーカスした記事も公開しています。



Note (左)、Instagram (右)



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス (個人)) wakasa291kanko@mbr.nifty.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) https://www.instagram.com/tsurugawakasa_writer
(note) https://note.com/reinan_writer53

～ 敦賀・若狭エリアのアクティビティの魅力を世界へ発信 ～

基本情報



【年齢】
40歳
【出身地】
イギリス
【転出元】
福井県高浜町
【前職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R8.1～R10.12

協力隊に応募したきっかけ

福井県高浜町で地域おこし協力隊の任期を終え、トラベルライター兼フォトグラファーとしての経験を活かし、より広い地域で福井県の魅力を発信したいと考え応募しました。また、サイクリングやSUP、サーフィン、ハイキング、カヤックなどのアウトドア活動が好きで、この職務は自分の興味や経験に合った役割だと感じました。将来的に福井県へ定住することを決めており、これまで築いてきた地域とのつながりを大切にしながら、この地域で活動を続けていきたいと考えています。

今後の抱負・任期後の目標

嶺南地域および福井県が、国内外の旅行者にとって魅力的な観光地としてより認知されるよう、情報発信やプロモーション活動を通じて貢献したいと考えています。また、福井県の住みやすさを伝えるコンテンツを制作し、移住先として福井を検討する人を増やしたいと思います。さらに、私が住んでいる若狭町末野で、地元の農家やかみなか農楽舎と協力しながら農業民泊の立ち上げを計画しています。スロートラベルへの関心が高まる中、この取り組みが地域農業の支援と農村体験の提供につながると考えています。

活動内容

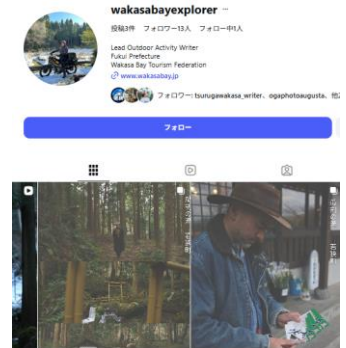
●特集記事の作成

敦賀・若狭エリアの体験、アウトドアアクティビティに関する特集記事を作成し、情報発信を行っています。実際に自ら体験することで、より読者と近い立場から魅力を伝えます！



●SNSでの情報発信

敦賀・若狭エリアでできる体験、アウトドアアクティビティについて、SNS（インスタグラム）でも広く発信しています。



●アウトドアアクティビティコンテンツの磨き上げ

敦賀・若狭エリアでできる体験、アウトドアアクティビティをより良いものにするため、地域事業者と相談会などを開きます。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) bryanwakasabay@gmail.com

【インスタグラムはこちら】
URL: <https://www.instagram.com/wakasabayexplorer/>

～ 福井で歴史観光のムーブメントを創る！歴史観光推進マネージャー～

基本情報



【年齢】
37歳
【出身地】
東京都大田区
【転出元】
福井県福井市
【前職】
画廊勤務・フリーランス
ライター・モデル
【活動時期】
R6.10～

協力隊に応募したきっかけ

元々歴史や旅行が好きでそれらに関する仕事がしたかったから。
そんな中、全国47都道府県ある中で住んでみたいかと思っただけで福井県で歴史に特化した募集があったので応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

福井といえば恐竜と〇〇！！という史跡を県内外の人に定着させること。
任期後も福井の歴史と観光に関わられたらと思っています。

活動内容

●福井の史跡をセミナー開催

福井の史跡や歴史を県内の方に知ってもらうためのセミナーを開催しました。



●歴史番組出演

県内で放送される歴史番組に出演しました。



●活動内容タイトル3

県内の新聞記事のコラムや観光サイトの記事を執筆しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) mayakaji1014@gamail.com
活動の様子を発信しているSNS・ブログなど
(instagram) <https://www.instagram.com/mayakaji/>
(tiktok) https://www.tiktok.com/@fukuirekishis?is_from_webapp=1&sender_device=pc

福井県 大谷 桃子

～エンタメをきっかけに”福井に行きたい！”をつくる『ロケーションコーディネーター』～

基本情報



【年齢】
非公表
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都江戸川区
【前職】
放送会社勤務
【活動時期】
R6.11～活動中

協力隊に応募したきっかけ

本業の傍らプロボノ活動で他県の観光振興に携わるなか、映像業界での知見を活かし、映像作品の力で地域を盛り上げる仕組みが作れないかと事業計画を構想していました。そんな折、福井県の「攻めのロケ誘致」という方針を知り、直近10年の営業経験で培った提案スキルが即戦力として活かせるだけでなく、自分の理想とする活動を福井県で形にできると強く感じ応募しました。また、観光面で「伸びしろ」しかない福井の現状を、自らの手で開拓していける秘めたポテンシャルがある点にもおおきな魅力を感じています。

今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】

ロケ誘致と並行し、評価を得ている「期待以上の伴走支援」を市町連携でさらに深化させます。また、映画祭等の実施で、映像文化が地域に根付く仕組みづくりを継続します。

【任期後の目標】

任期中に築いた実績とネットワークを基盤に福井で事業化し、映像作品を通じて福井のポテンシャルを世界へ発信していきたいと考えています。

活動内容

●ロケ誘致・伴走支援の実行

営業活動に注力してロケ誘致を実現し、伴走支援においては制作現場から「期待以上の対応」と評価を得て、具体的な相談が増加しています。現在は地上波ドラマ1作品の撮影支援と、映画2作品のロケハン・撮影準備を並行して進めています。また、映画1作品、配信ドラマ1作品について、ロケ地提案・ロケハン対応を展開中です。



●地域の映像文化醸成

映画館のない小浜市で映画祭を開催。学生が高齢者へ「かつての映画館の記憶」を聞き取るなかで、過去のまちの活気を知った学生らが地域への使命感を抱くという深い世代間交流が実現。単なるイベントに留まらず学生が主体的に次回の運営を担う「自走の仕組み」を構築し、映像文化を育む土壌づくりに取り組んでいます。



●県内市町との連携・支援体制の平準化

県内全域で撮影支援レベルの平準化を図るため、業界団体やベテランコーディネーターを招いた説明会を4月以降に開催予定です。基礎知識やノウハウの共有のみならず、迅速なロケ地提案や「期待以上の伴走支援」を県内市町で提供できるよう、福井県が一丸となった受け入れ体制の構築を推進します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人)) momoko.otani@fukuiken-fc.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(個人FB) <https://www.facebook.com/share/18MGMkpzDE/>



～ 映像文化を活かした地域発信の協力隊としての取り組み ～

基本情報



【年 齢】
53歳
【出身地】
鹿児島県鹿児島市
【転出元】
東京都杉並区
【前 職】
ワインショップ運営など
飲食業界での活動。WEB
業界にて、デザイン、シス
テム開発、企画などを担当。
【活動時期】
R6.11～

協力隊に応募したきっかけ

これまで写真、デザイン、WEBなどのクリエイティブ分野において「魅力をどのように伝えるか」というテーマに関わる仕事を行ってきました。ロケ誘致は、地域の風景や文化を国内外に発信する重要な手段であり、観光や地域ブランドの向上にもつながる取り組みです。募集の地域おこし協力隊は、クリエイティブ分野の経験を活かしながら地域の魅力発信に関わることができる活動であり、これまでの経験を地域のために活かしたいと考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は福井県での映像作品の撮影実績を増やすとともに、映像文化を通じた地域交流の機会を広げていきたいと考えています。フィルムコミッション活動を通じて、福井県の魅力を国内外に発信していく取り組みを継続していきたいと思っております。

活動内容

●映像作品のロケ誘致支援

映画・テレビ制作会社からの問合せ対応。ロケ地提案や撮影調整。地域と制作側の調整役として支援。

●ロケ地情報の整備・ロケ地マップ制作

制作会社がロケ地を検討しやすくするため、ロケ地マップの制作。映像制作の視点を意識した情報整理。

●映像文化を活用した地域イベントの企画

映画と対話ワークショップを組合せた参加型イベント企画・運営。映画で地域について考える場づくり。

●SNS・WEBによる情報発信

フィルムコミッション活動や地域の魅力をSNSやWEBを通して継続的に発信。

●映像関係者とのネットワーク構築

映画監督や映像制作者などとの交流を通じて、福井県と映像業界のつながりを広げる活動。

●教育機関での講義

大学などで、映画と地域の関係性をテーマに講義を行い、地域や映像に関心を持つきっかけづくり。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス (個人or職場)) teshima@fukui.jpn.org

(電話番号 (個人or職場)) 090-4139-7630

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(HP) <https://tessy.work> (instagram) @tessy.work @cdl.tessy @tessy.fc

(YouTube : テッシーのふくい時間) @tessy_fukui

福井県 村木 茂

～三大都市圏等への営業による団体旅行誘致強化～

基本情報



【年 齢】
56歳
【出身地】
大阪府豊中市
【転出元】
大阪府大阪市
【前 職】
観光施設管理責任者
【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

私の人生の目的は「感動の場所を創る」ことです。これまで私は、観光・教育旅行の企画や営業を通じて、地域の魅力を外部に伝える“橋渡し役”として活動してきました。一般社団法人ツーリズム協会の事務局長として、地域事業者と連携し、地域資源を磨き上げて発信力を高め、誘客につながる成果を上げました。北陸新幹線延伸など大きな変化をむかえる福井県で地域の価値を外部に届けることに貢献したいという思いが、地域おこし協力隊に応募した理由です。

今後の抱負・任期後の目標

任期中は、恐竜博物館のリニューアル後の展示価値を活かした営業強化により、教育旅行・団体の集客を安定化させる。そして、県内施設や自治体との連携を深め、周遊の促進と地域全体の魅力向上に取り組みます。任期後は、観光・教育・地域振興に関わる事業の企画推進に携わることを目指し地域資源を活かした事業づくりや地域課題の改善を通じ、行政や地域事業者と協働し観光モデルの構築や地域価値の向上に寄与する事が目標です。

活動内容

旅行会社に対するツアー造成の働きかけ

三大都市圏を中心とした県外の旅行会社を訪問し、恐竜博物館を組み込んだ教育旅行・団体旅行商品の造成を働きかけます。リニューアル内容や館内プログラム、地域周辺コンテンツを整理して提案し、商品化を促進します。また、旅行会社の要望や市場動向を収集し、館内や関係機関と共有することで、実現性の高いツアー造成につなげます。



教育旅行誘致、団体旅行等誘致

旅行会社の担当部門への営業や学校訪問を通じて、新幹線延伸によるアクセス向上を訴求し、恐竜博物館への教育旅行・団体旅行の誘致を進めます。リニューアル内容や学習支援プログラムを活用した提案を行い、学校の学習目的に合った訪問計画づくりを支援することで、来館需要の拡大につなげています。



地域連携

県内の宿泊施設や民泊、大人数に対応できる食事施設、さらに関係機関との連携を強化し、恐竜博物館を起点とした周遊促進に取り組みます。地域連携を深めることで回遊性を高め、観光振興と地域の魅力向上につなげ、恐竜博物館の来館者数増加を図ります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス（個人） moppuguru2@gmail.com
電話番号（個人） 090-9714-7888

～日本人県民と外国人県民をつなぎ、異文化理解を深める、多文化共生プロモーター！～

基本情報



【年齢】
30歳
【出身地】
アメリカ合衆国
【転出元】
福井県
【前職】
福井県大野市役所教育総務課 元JETプログラムALT
【活動時期】
R5.9～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

大野市役所に勤めている間に、福井県の全市町を旅して、福井県の事を好きになった。これからも福井県で暮らしたい、働きたいと思い、県内での就職ルートを調べ始めた。

就職活動している間に、「ふくい外国人コミュニティリーダー」活動の存在を知り、認定された。他のリーダーの皆さんとの交流が始まり、今後も日本語力を生かしながら県民と外国人住民との橋渡し役に立ちたいと思い、地域おこし協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

各地域の国際団体のDX化に関わりながら、イベント企画やSNS運営、そして地域住民のエンパワーメント事業を仕事にしたい。

地域おこし協力隊委の任務で作ったSNSアカウントを活用し「福井人」インタビューシリーズの作成を続け、福井県民に幅広いインタビューした情報を県内外に発信していきたい。

また、「永住者」の在留資格を取得し、イベント会場として使える多言語・多文化のブックカフェ・レンタルスペースの経営もしていきたい。

活動内容

●地域の国際化に向けた県民の意識向上

地域の国際交流団体のSNSをもっと気軽にフレンドリーなデザインにする必要があると感じた。ふくい国際フェスティバルのSNS宣伝戦略に関わったり、「福井人」という県内在住の外国人住民とのインタビューシリーズの制作も行った。

また、「福井人」や「ふくい外国人コミュニティリーダー」が講師になるトークセッションやワークショップのイベントシリーズ「Fタブ」の企画・運営も行った。



●ふくい多文化共生推進ネットワークの活性化

ふくい多文化共生推進ネットワークに登録している団体に協力して、国際交流イベントの企画サポートやSNS告知・イベント運営や撮影の取り組みに関わった。

また、国際交流や多文化共生の取り組みをする際には、外国人の視点や若者視点が大事だと思い、各団体に関わりながらアドバイスをを行った。



●ふくい外国人コミュニティリーダー制度の運営サポート

県庁や各地域の国際交流団体や役場からの情報を整理して、オンラインミーティングやSNSでふくい外国人コミュニティリーダーへの通知を行った。さらに、各団体とのマッチング、イベントへの参画を通してコミュニティリーダーの活動機会を作った。

ふくい外国人コミュニティリーダー同士の繋がりへの必要性も感じて、新年会や交流会などの対面交流課会の企画にも関わった。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) fukuiwithcatherine@gmail.com
(電話番号) 070-4306-8680

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(SNSあつめ) <https://linktr.ee/fukuiwithcatherine>

～ スポーツ大会の誘致やスポーツイベントの企画・開催の伴走支援
 スポーツを通じて『スポーツで人を動かし地域活性化への仕組みづくり』スポーツコミッションコーディネーター～

基本情報



【年 齢】
57歳
 【出身地】
岐阜県岐阜市
 【転出元】
岐阜県岐阜市
 【前 職】
情報通信関連
 【活動時期】
R6.10～R9.9

協力隊に応募したきっかけ

応募のきっかけは、地方創生への関心です。
 これまで新規イベントの企画・運営に携わり、計画から実行までのプロセスを理解してきました。
 その経験を活かし、各団体の取り組みに伴走しながらイベントの企画・運営を支援し、スポーツを通じた地域のにぎわいづくりや地域活性化につなげていきたいと考え、応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、これまでにないスポーツ催事の企画・立案に取り組み、関係団体の取り組みに伴走しながら実現につなげていきたいと考えています。
 また、スポーツビジネスの視点を取り入れ、持続可能な地域活性化につなげていくことを目指します。

活動内容

- **スポーツコミッションコーディネーターの活動について**
 - ・スポーツを通じた地域活性化と交流人口の拡大
 - ・県外からの誘客を促進し、地域資源を活用した新たなスポーツイベントの創出



出典：JSTA「一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構」

● 企画立案及び伴走支援（自転車競技）

福井空港を活用した自転車競技
 「AIRPORT CRIT 2026」
 福井空港開港60周年という節目にあわせ、実業団によるレースや地域イベント等を企画及び伴走支援
 （2026年10月24日、25日開催予定）




● 合宿誘致及び伴走支援 （R7年度女子レスリング オリンピック・世界選手権合同合宿）

2026年2月26日～3月2日に行われた、女子レスリングの合同合宿誘致（開催）に向けた、広報作成や会場設営等の伴走支援



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
 （メールアドレス（個人））kennhosono@gmail.com
 （電話番号（職場））0776-20-0747
 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
 福井県スポーツ情報ポータルサイト
<https://f-sports.pref.fukui.lg.jp/> 

～ 里山文化創造コミュニティ「どんぐり舎」の実践 ～

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
岡山県和気町
【転出元】
京都府京都市
【前職】
ウェブ制作
【活動時期】
R5.11～

協力隊に応募したきっかけ

山が木材生産の場としてのみ捉えられている現状に、私は違和感を感じていました。その中で出会ったのが、山を守りながら木を活用していく「自伐型林業」という小さな林業のあり方です。私はその中でも暮らしに焦点を当て、里山文化を守りながら木を活かしていく仕事をつくりたいと考えました。その取り組みを地域の中で実践していくため、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

ただ人が暮らすだけで、生き物が豊かになっていく、収穫量が増えていくシステムを、文殊山の麓にある福井市角原町から実践していきます。それは新しい概念ではなく、かつての里山文化そのものです。また、日本人の精神性もそこにあると思います。懐古ではなく創造。里山文化をまずは自分たちが楽しむこと、味わうこと、暮らすこと。「火のある暮らし体験プログラム」として体験してもらうこと。里山の生業を引き続きつくっていきます。

活動内容

●コミュニティ実践としての里山林整備

集落沿いの放置竹林を整備して竹炭を製作する、針葉樹林の間伐をする、山にアクセスするための作業道を作設するなどの作業を週1で実施。初心者からベテランまで、20人以上の方々が参加してくれました。



●山の寺子屋ができるまで

整備している山の麓にある築150年の古民家を改修して、里山を起点に多様な関係性が生まれる場になっています。山にある資源を使う暮らしを探究できるように、囲炉裏や薪ストーブなどの装置を設置します。今年の秋にオープン予定。



●ワークショップ

竹炭、筍、作業道作設、生物多様性...etc
時に講師の方にお越しいただいて、ワークショップ形式で里山のこと、生き物のことについて学びました。約80人の方々が文殊山角原に来てくださって、にぎやかに開催できました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) tomoya.kugutsu@gmail.com
(電話番号(個人)) 080-8243-9502

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(どんぐり舎) <https://dongurisha.jp/>

～ 自伐型林業による山村地域の活性化を目指して ～

基本情報



【年齢】
41歳
【出身地】
岐阜県多治見市
【転出元】
愛知県江南市
【前職】
コールセンター営業
【活動時期】
R7.10～

協力隊に応募したきっかけ

大学時代から森林科学を専攻し、日本の山林が抱える課題に向き合ってきました。その中で、福井市内で開校されている自伐型林業大学校を知り、実際にそこで学んだことで、自伐型林業を通して「林業界を花形産業にする」という宮田校長の言葉に感銘を受け、自ら実践者として道を切り拓く決意を固めました。自立した経営を目指す「自伐型林業」のモデルを福井市で確立し、志を同じくする仲間の先駆けになりたいと考え、応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

私の最大の目標は、森林を単なる「木材生産の場」としてだけでなく、人々が関わりを持ち続けられる「交流の場」へと変え、「山と人をつなぐ」ことです。任期終了後は、屋号「ジラフ林産」として独立し、私自身のバックグラウンドを活かした学術機関との連携やSNS等を活用して「自伐型林業のリアルな魅力」を戦略的な発信に注力します。福井県の豊かな森林を次世代に繋ぐため、貢献し続けたいです。

活動内容

●自伐型林業大学校での高度な技術習得と理論の再構築

4月より受講を開始した「自伐型林業大学校」での学びを軸に、日々の現場活動を行っています。現場でしか得られない伐採技術、道づくり、そして安全管理を徹底的に学び直すことで、環境への負荷を抑えつつ持続可能な山林経営を行うための「即戦力」としての知識と技術を深化させています。



●未利用材の徹底活用による資源循環と「半林半X」の実践

自伐型林業の活動過程で発生する搬出材をバイオマス発電所へ出荷するだけでなく、需要の高い薪への加工を行うことで、山から直接的な収益を生む仕組みを構築中です。将来的には木材加工の技術も習得し、林業を軸にしながら多様な仕事を生み出す「半林半X」のモデルケースを目指しています。



●地域社会とのネットワーク構築と「自立する林業」の発信

山での実務に留まらず、地域おこし協力隊として地域住民の方々や他業種の方との交流を通じ、自伐型林業を「一過性の活動」ではなく「地域に根ざした事業」として確立させるための土壌作りを行っています。任期終了後の自立を見据え、ネットワーク構築とスキルアップを日々継続しています。

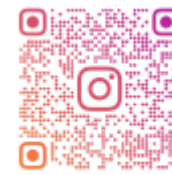


連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人・事業用))
mie_matsuura@giraffe-rinsan.com
(電話番号(個人)) 070-8931-7957
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook、Instagram(@mie_matsuura)



Facebook



Instagram 36

～ 県立高校の探究的な学びの支援 ほか ～

基本情報



【年 齢】
45歳
【出身地】
神奈川県横須賀市
【転出元】
宮城県仙台市
【前 職】
マーケティングリサーチャー
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

22年2月、福井県立勝山高等学校の新学科（探究特進科）設立前に探究コーディネーターとして活動開始。カリキュラム作成や授業計画・実施、生徒との対話・指導の支援、探究関連行事の企画運営に携わる。また、勝山市内の事業者をはじめとした探究サポーターとのコミュニケーションを通し、探究のゲストや生徒の訪問・相談先として連携を図ってきた。3年間の勝山高校での取り組みのノウハウをベースに、県内の公立高校への波及をする機会を得るため応募。

今後の抱負・任期後の目標

初年度は、各学校や担当者との関係性を構築し深める時間となった。2年目は各校の活動に関与度を高め、学校へのサポートのレベルUPと探究カリキュラムの向上を目指して活動を展開するほか、プロ人材（職業系）高校における課題研究と探究の橋渡しを協働で構築していくフェーズとなる。任期後においては、県内外での同様のニーズに応えていけるような立ち位置を確立したいと考える。

活動内容

●地元企業や自治体とのネットワークを構築

福井県庁探究サポーターをはじめ、地域おこし協力隊、県内の探究サポート企業を訪問・発掘し、各学校からの要望に応じて発表会や相談会での助言・指導役として招聘する体制を構築したほか、協力者のリストをプロフィールシート化して各学校に共有。



●県立高校の生徒の探究活動への助言・指導

各学校の探究・課題研究の時間に参加し、生徒との対話・助言役となるほか、要望に応じた特別授業として、プレゼンデザインやマーケティング、データサイエンスの観点から講座を実施。また、生徒だけでなく、要望に応じて教員のサポートに入っている。



●県立高校の探究的な取り組みの情報発信

日常の授業や探究・課題研究の発表会に訪問した際に、その様子を伝えるフォトレポートとして、福井県高校教育課のインスタグラムに記事を掲載。各学校の活動風景としてだけでなく、前述のサポート企業等の活動の様子を発信している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）） ryusuke.nagano@gmail.com
（電話番号（個人）） 080-6548-3058

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（いいね！福井の県立学校） https://www.instagram.com/fukuiken_koukoukyouiku/ 37

～ 福井の旬な文化財の情報を発信！ ～

基本情報



【年齢】
39歳
【出身地】
埼玉県春日部市
【転出元】
埼玉県春日部市
【前職】
会社員（メーカー）
【活動時期】
R5.11～R8.11

協力隊に応募したきっかけ

もともと仏教に関心があり、仏教と接点を持ちながら生きていけるライフスタイルを模索していました。そのような中で、文化財という観点から寺院の大規模修理を情報発信する隊員を募集していることを知りました。文化財の修理に関わる情報発信を通して、仏教に関わる方々と接点を持つことができるのではないかと考え、応募しました。また、個人でYouTubeを通じた情報発信を行ってきた経験もことから、そのスキルを文化財の情報発信に活かすことができるのではと考えたことも、応募の理由の一つです。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は、寺院の近くで民泊をしつつ、そこを拠点にインバウンド向けのガイドや、個人のYouTubeなどでの情報発信も継続しながら、地域の文化や文化財の魅力を伝える活動を続けていきたいと思っています。

活動内容

● SNS「ふくい文化財かわらばん」の運用

福井県内の旬な文化財を取材し、歴史的背景や見どころ、修理の様子などを分かりやすく紹介する「ふくい文化財かわらばん」の運用を行っています。現地での取材や関係者へのインタビューを通して、文化財の魅力や地域の方々の想いを伝えています。



● 文化財見学会・イベントの企画運営

文化財をより身近に感じてもらうための見学会やワークショップなどのイベントの企画・運営しています。



● 茅葺きに関わる活動

県内の茅葺き民家の保存に必要な茅の確保や、茅刈り体験などの活動に関わっています。茅葺き文化を支える資源や技術の継承には多くの人の関わりが必要であり、そうした活動の様子を発信することで、茅葺き文化の理解と関心を広げることが目指しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場）） megumi.yamasun@gmail.com
（電話番号（個人or職場）） 080-9557-5611

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ふくい文化財かわらばん）

